

2020年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（行動科学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1 近年クローズアップされている再現性問題に関する知識、および科学研究における実証の意義について論理的かつ説得的に論じる能力を評価する。</p> <p>問2 行動科学における最重要課題の一つである協力行動に関する仮想的な研究結果を、先行研究で提唱された複数の理論との関係を考慮しつつ解釈する能力を評価する。</p> <p>問3 行動科学に関連する諸領域の基礎知識を評価する。</p>

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 行動科学 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 3枚を配付する。

問1～問3までのすべての間に答えなさい。各問に対する解答は、最初に問番号を明記した上で、別々の解答用紙に記入すること。

問1

近年、心理学領域において「再現性問題」がクローズアップされてきた。著名な論文の研究を同一の方法を用いて追試しても、しばしば結果が再現されないのである。たとえば、行動プライミングに関する著名な研究として、実験参加者に老人と関連する様々な単語を用いて文章を作成する課題を行わせると、老人とは無関係な単語を用いて文章を作成した場合と比べて、課題後に観察される参加者の歩行速度が低下することを示したものがある (Bargh, Chen, & Burrow, 1996)。だが、その後に行われた追試研究では、この効果は再現されなかった (Doyen, Klein, Pichon, & Cleeremans, 2012)。

以上を踏まえ、次の2つの問いに答えなさい。

- 1) 上記のように、広く知られた研究結果がしばしば再現されない問題はなぜ起こるのだろうか。その原因を多角的に論じなさい。
- 2) 心理学実験で観察された現象というものは、追試をしても必ず再現されるとは限らないにも関わらず、それでも実証研究を行うことが重要だとすれば、それはどのような理由によるのだろうか。あなたの考えを論じなさい。

次のページに進む

問2

以下は、ある仮想的な実験の概要と結果である。これに関して、後述の1)と2)の問いに答えなさい。

集団間行動の研究者が、過去に対立と葛藤の歴史がある二つの国の人々を対象に以下の研究を行った。両国、もしくはいずれか一方の国から選ばれた参加者2名ずつがペアとなり、一回限りの同時囚人のジレンマゲームを行った。実験操作された独立変数は、ゲーム相手の集団所属性と、自他間の知識状態の二つであり、いずれも参加者間要因であった（注）。第一の要因の水準は、ゲームの相手が自国民である「内集団条件」と、相手が他国民である「外集団条件」の二つであった。第二の要因の水準は、参加者も相手もお互いの国籍がいずれの国であるかを知らない「知識なし条件」、参加者は相手の国籍を知っているが相手は参加者の国籍を知らない「一方的知識条件」、参加者も相手もお互いの国籍を知っている「双方向知識条件」の三つであった。

実験の結果、各条件における協力率は表1のとおりとなった。

表1 ゲーム相手の集団所属性と自他間の知識状態が囚人のジレンマゲームにおける協力率に与える影響

		ゲーム相手の集団所属性	
		内集団	外集団
自他間の知識状態	知識なし条件	50%	50%
	一方的知識条件	50%	50%
	双方向知識条件	70%	30%

- 1) このような結果はなぜ生じたのだろうか。あなたの解釈を述べなさい。
- 2) 協力問題に対してこれまで複数の理論的アプローチが提唱されてきた中で、上で述べたあなたの解釈はどのような意味を持つのだろうか。その意義を論じなさい。

（注）本来は、参加者の所属国も第三の要因と考えることが可能であるが、今回は二つの国の参加者が完全に同一の反応を示したため、ここでは国を要因として考慮しないものとする。

[次のページに進む](#)

問3

次の5つの語句全てを簡潔に説明しなさい。その際、その語句と関連した著名な実験・調査や研究者などの補足説明を添えること。

- 1) 不十分な正当化 (insufficient justification)
- 2) 社会的学習 (social learning)
- 3) 遺伝子と文化の共進化 (gene-culture coevolution)
- 4) 無知のヴェール (veil of ignorance)
- 5) プロスペクト理論 (prospect theory)

以上